グループホーム　森の家Ｂ　第１回地域連携推進会議　議事録

日時：令和８年２月 26 日（木）　　14：45～15：45
場所：グループホーム　森の家Ｂ　相談室及び施設内訪問

○出席者
利用者、利用者家族、深見中原自治会会長、大和市民活動センター拠点やまと会長
森の家Ｂ（サービス管理責任者）、森の家Ｂ（利用者担当職員）

□開会のあいさつ

□出席者紹介
出席者各自、所属等含めての自己紹介を実施

□議題
～第１部～
○地域連携推進会議の目的
本年度より義務化となった「地域連携促進会議」を通じて、グループホーム利用者と地域住民とのつながりをつくることで、閉鎖的にはならず外部に開かれた“見える化”を構築し、地域行事等に参加しやすい関係・環境づくりを目指します。
（利用者と地域の関係づくり・地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進・施設等やサービスの透明性と質の確保・利用者の権利擁護）

○障害について（身体障害の内部障害について）

～第２部～
○森の家の概要
森の家Ｂは家庭環境・住宅事情の理由や日常生活上の援助が必要な方に対して共同の住宅を提供し、相談・支援を行って行くことで利用者様の社会復帰と自立の促進を図ることを目的としています。（利用期間は３年　その後は１年毎の延長あり）

利用料：月額 50,000 円（内訳　居室料 38,000 円　共益費 2,000 円　水道光熱費 10,000 円）
食事実食精算（大和病院　栄養課にて調理されたものを提供）
→朝食 200 円　昼食 400 円　夕食 400 円（1 日 1,000 円）

○施設等地域の連携
～障害についての理解～

精神疾患や精神障がいについては、周りから見て分かりにくいため、社会においても十分に理解されていない状況があります。具体的には気分が沈む、意欲が出にくい、考えがまとまりにくい等の精神症状により、学習や労働、日常生活、対人関係等生活に支障がでてきます。社会全体において、理解を更に深め、当事者や家族などの思いをしっかりと受け止めるとともに、地域における様々な実践において学ぶことが必要です。

〇サービスの透明性・質の確保

利用者の日常生活の様子について

週に3日以上日中活動をされており休日は自由に過ごされております。

余暇支援として昼食作り（調理実習）買い物支援、外出支援を実施

※支援の質の向上のための取組として、日勤入8：30　夜勤入16：00の申し送りにて情報共有及び意見交換を行い引継ぎする。

〇利用状況

・利用者数（令和8年2月1日現在）

・17名（定員20名）

区分4　2名　区分3　4名　区分2　11名　区分1　0名　計17名

・性別　男性　12名　女性　5名

・利用者平均年齢　52.5歳

・病名：統合失調症11名　妄想型統合失調症3名　統合失調症感情障害1名
うつ病　1名　統合失調症＋知的障害　1名

・住所地（住民票住所）

大和市　10名　座間市　1名　相模原市　1名　横浜市　1名　平塚市　1名
厚木市1名　川崎市　1名　藤沢市　1名

・日中活動先

デイケア	4名	デイケア＋就労支援B型作業所	3名
デイケア＋一般就労	1名	就労支援B型作業所	5名
一般就労	1名	地域活動支援センター	1名
入院中	2名		

・収入　生活保護　障害年金　生保＋障害年金　障害厚生年金　就労＋障害年金

〇運営状況（協議内容・研修・職員体制等）

・運営費：国と都道府県からの助成と利用者実費

・職員 職員配置加算Ⅰ

日勤8：30～16：30（夜間職員常駐　夜勤：16：00～翌9：00仮眠あり）

○森の家Bの各種取組状況（BCP（業務継続計画）含む）

感染委員会

防災対策

避難訓練（年2回以上地震や火事を想定した訓練を実施）

消防設備　点検（年1回）

空調点検（年に2回）

入居者ミーティング（月1回）

スタッフミーティング（月に1回）　利用者1人1人が自分らしく安心して生活が出来る

カンファレンス（月に1回）　情報の共有、支援の方向性の統一を図る

共用場所清掃

居室清掃確認

金銭管理（小遣い帳チェック：原則金銭の預かりは行わない）

服薬管理

日中活動（週3日以上通所）

起床・就寝　生活リズム改善

日常生活の支援（洗濯・入浴）

権利擁護の取り組み（連絡先等掲示）

苦情解決責任者（森の家管理者）、苦情解決受付担当者（森の家サービス管理責任者）

虐待防止責任者（森の家サービス管理責任者）

苦情解決第三者委員：弁護士・大和病院医療相談室長

～流れ～

苦情解決窓口（管理者：サービス管理責任者）に申し出ても解決できない案件は第三者委員が対応

○事故等の状況（ヒヤリハット報告）

◇事例①◇女性　　75歳

内容

玄関内側にて方向転換をした際に尻もちを突く格好で転倒。当時は雨が降っており室内湿度が高く床が少々湿っていた為、滑って転倒。職員介助するも自力での立位保持困難、左足関節腫脹にて介護タクシーにて整形外科受診。

レントゲン等各検査実施“左脛骨遠位端骨折（ひだりけいこつえんいたんこっせつ）”と診断にて入院・手術

➡リハビリ後も自力歩行困難にて有料老人ホームに移行

施設の対応

入院及び手術における手続きと付添、定期的な面会、日用品やオムツの購入、公的手続き

居室整理、有料老人ホーム手続きと訪問　　など

◇事例②◇　女性　　60 歳

内容

夜勤者が 21：00 に就前空薬袋が未提出にて訪室し声掛けを行った際に、既に服用下との返答にて、翌朝空薬袋回収の声掛け実施。暫くして就前薬の残薬が 1 包多いと言われ前夜に服用していなかった事が判明。

施設の対応

薬カレンダーを購入し活用

薬袋に日付を記入、定刻に空薬袋が提出されない場合は、薬カレンダーの残薬を確認

○年間行事

・8 月　夏祭り（大和病院：花火）　・10 月　大和フェスティバル

・11 月　大掃除＆茶話会　　・12 月クリスマス会

・通年　調理実習

○地域行事のご案内

・8 月　夏祭り（大和病院：花火）　・10 月　大和フェスティバル

□施設見学・案内

・玄関➡洗面・洗濯室➡利用者居室➡　食堂兼娯楽室➡厨房➡浴室➡非常口の順に訪問

【意見交換】

◇自治会長：来年度より自治会のパンフレット等に施設を掲載しても良いか？

施設：自治会に加入のため、問題なし。

◇自治会長：地域のイベントについての伝達

大和病院前公園等、近所の公園にて定期的にゴミ拾いを地域のブロックごとに行っている。

流れとしては、事前に清掃する範囲を自治会に申告→ゴミ袋を受け取る→実施

◇大和市民活動センター　拠点やまと会長：音楽鑑賞会のお知らせ

施設内で音楽に触れあうイベントとしてマンダリン演奏会の提案

施設：クリスマス会を始め、開催して行きたい。

◇　利用者：音楽鑑賞会などのイベントがあると嬉しい。地域の方と交流し、世間話がしたい。

利用者全体で参加出来きるイベントがあると嬉しい。

□閉会のあいさつ